

丹波篠山市教育振興基本計画(丹波篠山きらめき教育プラン)(案)に対するパブリックコメントの概要と回答

閲覧・募集期間：令和7年6月19日（木）～7月18日（金）

意見の数：2名、32件

パブリックコメントの概要	市の考え方
<p>①P4■指標でみる取り組みの成果</p> <p>自然遊びをよく行う園児の割合、虫探しをよく行う園児の割合、「前年度実績以上」という目標に対して R5 年度はともに前年度を下回っている。その理由についてどのように分析されているのか、またどのように対策されていくのか教えてほしい。</p> <p>②P5▼これまでの主な取り組み</p> <p>「・乳幼児期の保育・教育は、子どもたちの成長過程の中で、基本となる生活習慣を確立させていく時期であるため、その時期に関わる職員の資質向上が大切である。～」との記述に関し、主語を「乳幼児期の保育・教育は」と限定した期間としながら、次に、「子どもたちの成長過程の中で」と、それ以上に長い期間の表現があり、続いてまた「…確立させていく時期であるため」と、時期を特定している。また、「子どもたち」と複数にするより、一般論として「子ども」とした方がいいのではないか。また、「…させていく時期であるため、」に続くので、指示語は無くても、</p>	<p>①令和5年度は全国で猛暑日が例年を上回ったことや、子どもたちの遊びが室内遊びへ変化しているなど、いくつかの要因が想定される。対策として、市内園において、四季折々の遊びが収集されている「はる・なつ・あき・ふゆ あそぶっく」を活用し、自然遊びを取り入れた保育を行っています。また、丹波篠山の自然の中で遊びながら様々な体験を通して子どもの好奇心や五感を育み、子ども同士が刺激し合いながら社会性を身に付ける機会を子育てふれあいセンター事業で提供します。</p> <p>②ご意見も踏まえ、修正します。</p>

「関わる職員の…」と続けるほうが読みやすくなるを考える。

③「～教育研究所の園担当の指導主事～」について、指導主事の説明となるので、研究所での位置づけ「園担当」なのか「幼児教育指導主事」なのか、行政用語はどちらなのか。

④「～そのため、教育研究所の園担当の指導主事が主体となって時代にあわせた職員研修に取り組み、職員の資質向上を行った。」との記述に関し、「時代にあわせた職員研修」の時代に合わせたという表現は、前段に「基本となる生活習慣」とあり、生活スタイルは時代と共に変化していくので、「時代の変化に合わせた研修」でどうか。

⑤「～私立認定こども園への教育長訪問や、園職員の意見交換会、研修の合同実施等、さらなる公私立園の連携を図った。」との記述に関し、「園職員の」は後述同様の「公私立園の」になるのではないか。

⑥P5●課題と今後の方向性

「・乳幼児期の保育・教育は変化していくものであるため、職員がその変化に対する知識や技術、方法、姿勢等を習得していく必要がある。そのため、公私立園ともに職員の資質向上を目的に合同の職員研修等を行っていく。～」との記述に関し、二つの主語があり、整理してはどうか。

⑦「～また、日々の保育・教育内容についての全体的な意見交換会や園長会、また、担当者レベルでの会議等、密な連携を継続して実施する。」との記述に関し、「また」は、前文「職員研修等を行っていく。」に続き、「意見交換会や園長会」は行うものであるため違和感はないが、次の担当者レベル会議等を「また」で繋ぐ

③園担当の指導主事です。

④ご意見も踏まえ、修正します。

⑤ご意見も踏まえ、修正します。

⑥ご意見も踏まえ、修正します。

⑦ご意見も踏まえ、修正します。

と密な連携を実施すると、若干の齟齬を感じる。

⑧「子どもたちの身体面を向上させていくため、保育園・幼稚園・こども園長会等において周知を行い、普段の保育・教育活動の中に自然を取り込むとともに、バランス感覚を養う運動や遊び、諸感覚を鍛えるための遊びを実施していく。」との記述に関し、「等」は不要ではないか。さらに「～周知を行い、～」の述語、「～取り込むとともに、～」の副詞の位置が文の読み取りを難しくしていると考え。

⑨P6▼これまでの主な取り組み

「子育てふれあいセンターを市内 4 か所で開設し、2 か月から就学前の子どもを育てる保護者の学習の場・仲間づくりの場を提供した。」との記述に関し、「2ヶ月から」とは、どんな時期を指しているのか。

⑩「篠山チルドレンミュージアムでは、日本や世界の子どもの文化体験や自然体験活動を実施する等、多彩なイベントを開催した。」との記述に関し、教育委員会事務局は、篠山チルドレンミュージアムの指定管理事務委任を受けたと聞いたが、その運営に教育委員会が関わったと読めるが、よいか。

⑪P7■指標でみる取り組みの成果

病児保育室「にこにこ」の利用人数について、「年々増加していて、感染症等が流行すると定員以上の利用予約があり、希望する方全員を受け入れることが困難となっている。」と課題は記載されているが、それに対する今後の方向性は記載がありません。課題解決に向けてどのように検討していくのか、追記してほしい。

⑧ご意見も踏まえ、修正します。

⑨ご意見を踏まえ、追記します。

⑩篠山チルドレンミュージアムについては、令和 4 年度に市長部局から教育委員会事務局へ事務委任が行われました。現在、当施設は指定管理者制度により一般財団法人ポジティブアースネイチャーズスクールが施設管理や運営を行っています。イベントの実施にあたっては教育委員会が承認を行う等、教育委員会が関わっていますが、実際の企画・運営は指定管理者が行っています。

⑪ご意見を踏まえ、追記します。

⑫P12 ■ 指標でみる取り組みの成果

小中ギャップの解消とは、具体的にどのようなことですか。

⑬P16 ■ 指標でみる取組の成果

「→令和5年度から3か年計画で始めた幼稚園及び認定こども園への学校運営協議会については、令和6年度時点で7つの幼稚園が幼小合同設置、2つの認定こども園で設置した。」との記述に関し、「～7つの幼稚園が幼小合同設置～」、「～2つの認定こども園で設置した。」については、設置要綱では教育委員会が主体なので、「で」での統一ではないか。

⑭P19 ■ 指標でみる取組の成果

教育委員会が主催する研修会の開催種別について、R2～4 は「一部」と表記してあるが、目標が 20 種以上と数値なので、きちんと数値を明示してほしい。

⑮教職員の超過勤務について、これまでは前年度実績より削減という目標を掲げ、R2～5 の実績値が報告されている。今後の5ヶ年計画については、例えば毎年度 20%ずつ削減していく等、きちんと数値目標を立てて取り組むべきではないか。

⑯P20 ● 課題と今後の方向性

モデル校を指定して「架け橋プログラム研究事業」は、一定の成果はあげているものの、課題があると評価されている。今後の方向性として「より一層の推進を図る」と記載されているが、全市導入を目指すのか？ そうであればそのように記載してほしい。

⑫小学校から中学校に進学する際、学習面、生活面、人間関係等で生じる環境の変化にギャップを感じ、様々な困難に直面することであり、追記します。

⑬ご意見を踏まえ、修正します。

⑭ご意見を踏まえ、数値を明示します。

⑮現在、市教育委員会や各校において超過勤務削減に向けて取り組みを進めています。今後に向けての大きな課題は、部活動指導であり、現在、その解決に向けた地域展開の体制を整備中であり、段階的な削減数値目標の設定が難しいと判断しています。

⑯文部科学省では、「幼保小の架け橋プログラムに係る調査研究事業」(略称:架け橋プログラム)を推進しており、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校教育の接続期(いわゆる「架け橋期」:5歳児から小学校1年生までの2年間)における教育の質的向上と連携強化を目的としています。現在、本市においても「架け橋プログラム研究事業」として、各園でアプローチカリキュラムおよびスタートアップカリキュラムを作成し、事業を推進していますが、本市では園区と校区が一致していない地区があるため、全市導入の方針を打ち出すことが難しい状況にあります。こうした地域の状況を

⑰P25▼これまでの主な取り組み

文化財と町並みの保存と活用について、保存と活用の重要性は理解するが、市役所内でキチンと連携をとり、特に若い世代の定着を考慮して進めてほしい

⑱P26■指標でみる取組の成果

「→新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら行い、多くの方に伝統芸能を堪能いただいた。令和5年度は、春日神社能舞台の修理に伴い実施できなかったが、例年4月に行う「篠山春日能」を完成記念公演として、令和6年9月に篠山春日能を開催し、多くの観覧があった。」との記述に関し、実績値が上段に示されているため、「多くの観覧」でなく、数字で「〇〇〇人の参加者があった。」としてはどうか。

⑲P27■指標でみる取組の成果

市展作品の応募者数、市内の若手作家の応募者数、ともに大きく減ってきているにもかかわらず、そこへの分析・評価がされていない。「20周年を機に、新たな取り組みも進め、市民の芸術文化に対する関心を高め、文化交流を図ることができた。」というプラス評価とは関係がない。キチンと分析し、マイナス評価も掲載してください。(

⑳P30●課題と今後の方向性

「・地域素材を活用した学習活動が例年通りの展開で、学習テーマや内容の固定化、マンネリ化するという課題がある。ふるさとへの誇りと愛着の醸成に向けて、地域の課題を子どもの視点で捉え直し、課題解決に向けた探究的な学びを展開

踏まえながら、慎重に検討していく予定です。

⑰地域住民から構成されるまちなみ保存会と連携しながら町並みの保存と活用を推進しており、今後も引き続き地域住民の意見を取り入れながら施策を推進します。町並み景観の保存はデメリットだけでなく、地域の活性化や移住者の増加につながっている面もあり、伝建地区制度に対する理解促進に努めます。

⑱ご意見を踏まえ、修正します。

⑲ご意見も踏まえ、修正します。

⑳ご意見を踏まえ、修正します。

するため、カリキュラム・マネジメントを推進する。」との記述に関し、「固定化」と「マンネリ化」は同等の意味であり、どうか。

②P31 ●課題と今後の方向性

「・学校給食法においては給食の実施に必要な施設、設備及び運営に要する経費以外の負担は、学校給食費として保護者負担となっているが、今後は、給食費無償化に対する国の動向も考慮しながら検討を行う必要がある。」との記述に関し、検討を行う必要があるのは「学校給食費」と読み取れるが、遠回しな表現に思える。

②P32 リード文

「第3期計画期間中においては、少子化・人口減少、グローバル化の進展、格差の固定化等、様々な社会課題に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と国際情勢の不安定化という予測困難な時代の象徴ともいべき事態が生じ、社会の様々な課題も浮き彫りになった。～」との記述に関し、「格差の固定化」について、兵庫県の計画は「地域間格差」と表現し、文科は「…地球規模課題、格差の固定化と再生産など、様々な社会課題…」と記述している。さて、社会情勢としての「格差」を読み手はどう捉えるか難しいところではあるが、「格差の固定化等、様々な社会課題に加え」…漠然としすぎていないか。

③「今後の社会を見据えたとき」について、文科は「2040年以降の社会を見据えたとき」と、社人研の2040年以降の人口動態を見据えての書き出しとなり、「現時点で予測される社会の課題や変化に対応し人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要となる。」と記述している。また、兵庫の計画では「人口減少社会の進行」としてデータで示し、「都市部の人口増加と地方部の過疎化が同時進行してきており、県の人

①ご意見を踏まえ、修正します。

②ご意見も踏まえ、修正します。

③ご意見も踏まえ、修正します。

口の6割が県土面積の14%に当たる神戸・阪神地域に集住している。しかしながら
「今後、神戸・阪神地域も含め、すべての地域で人口が減ると推計されている。」と、
今後の社会を見据えている。さて、本市の記述は、「また、今後の社会を見据えたとき、
人口減少等の現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視
点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の両方が必
要とされている。」となっている。「必要とされている」という表現には、主体性が
感じ取れず、計画を作成し、推進していくという意志が感じ取れる「必要となる」の
ほうがいいのではないか。

⑭P35 6 こどもまんなか社会の実現

ひらがな「こども」という表記に注釈がされているのではないか。

⑮P38 第4章丹波篠山の教育のめざす姿【リード文】

「改めた背景としては、国や県の計画においても今後の日本社会においては「個人
や社会が持続的で多面的な幸せや生きがいを感じるウェルビーイングを、教育を通
じて向上させていくことが求められているからである。なお、この部分は基本理念の
「幸せに生きる」ともつながっている。～」との記述に関し、「なお文」は、不要では
ないか。改めた副題についての事由が記述してあるので、「幸せに生きる」を受けての
「学校づくり」「まちづくり」としてと、読み取れるのではないか。

⑯P41 各主体の責任と役割●教育行政

「・乳幼児教育、学校教育、社会教育の振興を推進し、保育園、こども園、幼稚園、
学校、家庭、地域、社会教育施設等の教育の主体と連携・協働するとともに、各主
体を支援する中で必要な施策を実施する。」との記述に関し、この文の主語は「
教育行政」で、教育機関「園…、家庭、地域、社会教育施設等の教育の主体」と連
携・協働する、と述べてあるが、「…社会教育施設等における教育の主

⑭追記します。

⑮ご意見も踏まえ、修正します。

⑯ご意見を踏まえ、修正します。

体」とする方がいいのではないか。

㉗P42 ●地域(市民)

「・地域は、子どもたちにとって、家庭や学校と同じ大切な生活の場であり、多様な人間関係や、社会の中での習慣や規範を学び、社会の一員としての自覚を育む場である。」との記述に関し、「子どもたちにとって」を「子どもにとって」と一般化し、挿入箇所を変えてはどうか。

次に、・子どもたちにとっての地域は、愛着を感じ、その一員としての自覚を育み、その地域の発展に尽くしたいという思い入れの生まれる場所である。子どもたちには、地域の人々や伝統、文化、歴史に積極的に関わり、ふるさとについての理解を深め、その価値を継承する重要性を認識させることが必要である。その上で、地域の課題解決に積極的に貢献する態度や、多様な人々と協働して新たな文化や価値を創造する態度を育む。

と地域関連を順に2つ記述し、同様に教育の主体として、市民関連として、
・市民は、子育てを行っている保護者に寄り添い、その不安や孤立感を和らげ、教育活動の場に自身の経験や技能、学習成果を提供する等、自らできる行動を積極的に行う役割を担う。

その上で、

・市民は、学校や家庭と相互に連携・協働し、ふるさと丹波篠山を担うとともに、日本の未来や国際社会に貢献する子どもたちの成長を支えていく。

の記述を最後とする方がしまった印象となるのではないか。

㉘P44ページ 第5章施策の基本方向 施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる保育・教育の推進 3 子ども・子育て支援の体制づくり【リード文】

「子どもや子育て中の人気が兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人が子どもや子育て中の人を応援す

㉗ご意見を踏まえ、修正します。

㉘ご意見を踏まえ、修正します。

る社会「こどもまんなか社会」の実現に向け、第3 期丹波篠山市子ども子育て支援事業計画の着実な遂行、また、(仮称)丹波篠山市子ども計画の策定に取り組む。」との記述に関し、リード文全体に、「子ども」「子育て中の人」が繰り返えされ、「こどもまんなか社会」の説明になりすぎと思える。

㊹「なお、子どもが幸せに育つには、保護者が幸せであることが前提にあるため、子育てにおける保護者の心理的負担を軽減するとともに、子育ての楽しさを実感できるよう取り組む。」との記述に関し、「～前提にあるため」よりも「欠かせないため」の方がいいのではないかと。

㊺「また、子どもや子育て世帯にやさしいまちづくりを推進する施策を市民に知っていただけるよう、子育て施策やイベント等の啓発活動を積極的に行っていく。」との記述に関し、伝わりにくいと思う。

㊻その他

今回のパブリックコメント募集は6月18日に市HPに公開されました。その2日後、6月20日に、国会で「手話施策推進法」が可決、成立しました。教育関係では、教育機会均等の観点から、在学する学校で手話による教育を受けられるよう、手話の技能がある教員や手話通訳者などの配置、手話を使用した教材提供を進める。国や自治体は手話画でできる教員の養成や、手話を使用した指導法の研修を実施する他、児童・生徒が理解や関心を深められるよう、手話を学ぶ機会を設ける。国や自治体による保護者や家族への相談・助言なども進めていくこととされています。手話施策推進法が定めることについて、教育振興基本計画に何らかの形で記載する必要はありませんか。または、毎年度策定する「丹波篠山の教育」で明確化していくと記載してはいかがかと。

㊹ご意見を踏まえ、修正します。

㊺ご意見を踏まえ、修正します。

㊻現在、「手話言語」については、各小中学校の教育課程で授業の中で既に取り組んでおり、また、社会福祉課との連携により、「手話言語」をテーマに特別プログラムとして学ぶ授業も実施しています。今後は、丹波篠山の教育の中で明確化することも検討します。

㊸その他

市内の認可外保育園との連携については、どのように考えているのでしょうか。

㊸公私立園と同様に認可外保育園においても、入所に係る空き状況や国の子ども子育てに関する制度や保育料の補助等について、情報共有を行っています。また毎年、兵庫県と合同で指導監査を実施しています。今後とも、更なる連携を図っていきます。